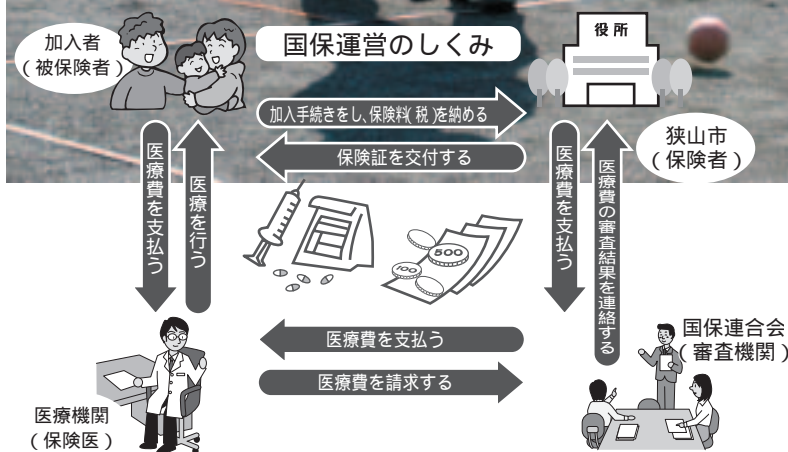


いつまでも健康で楽しい
毎日を過ごしたい

あなたの健康と未来を支える

国民健康保険は私たちの相互の助け合い



だれもが健康で安心できる日々を送りたいと願っています。しかし、いつ病気やけがをするか分かりません。そんな時、安心して医療を受けられる医療保険制度への加入が必要です。国民健康保険は、「もしものとき」のために、加入者の皆さんがお金を出し合って助け合う制度です。今月は、その国民健康保険の仕組みをお知らせします。

すべての方が安心して医療を受けられる保険制度

日本の医療保険制度では、いざというときに安心して医療を受けられるよう、すべての方が何らかの医療保険に加入しなければいけません。これを「国民皆保険」といいます。医療保険は、地域住民を対象とした「地域保険」と、サラリーマンを対象とした「職域保険」に分類され、国民健康保険は地域保険にあたります。これらの公的な医療保険制度で、比較的軽い負担で、必要な医療を治るまで受けることができます。

国民健康保険は、職場の健康保険などに加入できない方に医療を保障

する医療保険として、各市区町村で運営しています。そして、加入資格が発生したときは、必ず加入することになります。また、個人の自由意思で、やめることはできません。

国民健康保険の加入者
お店を経営している方、農業・漁業に携わっている方とその家族
パート・アルバイトなどで職場の健康保険に加入していない方
退職などで職場の健康保険をやめた方とその家族

外国人登録があり、滞在期間が1年以上の方

国民健康保険のサービス

保険診療の負担は1〜3割
病院などの窓口で保険証を提示して医療を受けたとき、支払う医療費の自己負担（一部負担）の割合は年齢によって異なります。3歳以上70歳未満の人は実際にかかった医療費の3割を、3歳未満の乳幼児は2割を、70歳以上の人は1割収入によって2割を一部負担金として支払うだけで済み、残りは国民健康保険から支払われます。

医療費が高額になったとき

高額な医療費を支払ったときは、申請することで一定の限度額を超えた分が支給されます。市では、高額療

保険税額の決め方

課税区分		医療分	介護分
所得割額	前年度の総所得金額から基礎控除(33万円)を差し引いた金額	7%	0.9%
資産割額	土地・家屋にかかる固定資産税額	34%	なし
均等割額	加入者1人につき	10,000円	7,000円
平等割額	1世帯につき	12,000円	なし
賦課限度額		50万円	7万円

養費に該当した場合は、おおむね診療月の3か月後にはがきでお知らせしています。はがきが届いてから、市役所の担当窓口へ申請してください。申請に必要なものはがき、保険証、印鑑、世帯主名義の預金通帳

出産したとき

国民健康保険の加入者が出産したときは、出産育児一時金30万円が支

皆さんの保険税で支えられている医療費

国民健康保険の加入者は、保険によつて診療などが受けられる「権利」を持つ一方で、保険税を納付する義務があります。保険税はその年度に予測される医療費の総額から、国などからの補助金と病院などで支払う一部負担金を差し引いた分を加入世帯に負担していただきます。市の保険税は、所得割額、資産割額、均等割額、平等割額表・保険税の決め方をもとに算定します。

保険税の納税義務者は世帯主

保険税は世帯単位で課税するため、納めるのは、国民健康保険の加入者であるなしにかかわらず、世帯主となります。なお、保険税がかかるのは加入者分のみとなります。

増え続ける国民の医療費

一人当たり月約2万円
医療費は、近年増え続ける傾向に

払われます。申請に必要なもの 保険証 印鑑
世帯主名義の預金通帳
加入者が死亡したとき
国民健康保険の加入者が死亡したときは、申請することで葬儀を行った方に葬祭費が支払われます。申請に必要なもの 保険証 印鑑 葬儀を行った方の預金通帳など

あります。その一方で、一人当たりの保険税は減少しています。これは、狭山市でも同様です。保険税の額は、医療費を賄うために、必要とされる医療費をもとに決められていることから、このまま医療費が増え続けると、保険税を上げなくてはなりません。

保険税は期限内に納付を

保険税の納付期限が過ぎても支払いをせずにいると、督促を受けたり、延滞金が増算されたり、財産の差し押さえなどが行われる場合があります。災害やその他、特別な事情で納付が困難な場合は、「相談ください」。

納付相談をしないといふと、有効期限の短い、短期被保険者証が交付される場合や、医療費が一時的に全額自己負担となる、被保険者資格証明書が交付されることがあります。

市税の納付は
便利で確実な口座振替を！

一度手続きをすれば、指定の口座から自動的に振り替えられますので、納め忘れがありません。市指定の金融機関などで手続きを行うことができます。

【申請に必要なもの】
保険証、通帳、通帳届出印

医療費を大切にするために

私たちは、健康な毎日を送ることがなにより大切です。健康であることは、医療費の伸びを抑えることにもなります。次のことに気をつけ、できることから始めましょう。

健康づくりの心掛ける

栄養・運動・休養の3つのポイントに気を付け、日ごろの生活を見直しましょう。

定期的に診断を受ける

検診は、病気の早期発見、早期治療につながります。また、異常がなくても、生活習慣を見直したり、健康に関して専門家からアドバイスを受けられるよい機会となります。

問合せ保険年金課へ内線1051